



<お知らせ>

2008年5月

～バンダイナムコグループが『YOSAKOIソーラン祭り』に協賛～  
洞爺湖サミットのカウントダウンイベント  
「EARTH DAY in ワールドソーラン Presented by バンダイナムコ」開催  
イメージキャラクター「ヨサコイ チャピ」の企画にも協力

株式会社バンダイナムコホールディングス

社長：高須武男 本社：東京都港区

バンダイナムコグループは2007年に続き、6月に北海道札幌市で開催される『第17回札幌 YOSAKOI ソーラン祭り』(主催：YOSAKOI ソーラン祭り組織委員会 URL：<http://www.yosanet.com/yosakoi>) および全国11都市で開催される同様の祭りへの協賛を行います。

『YOSAKOI ソーラン祭り』は高知の「よさこい祭り」に感動した1人の学生の呼びかけからスタート。ソーラン節がワンフレーズ以上入っている楽曲で鳴子を使い団体がオリジナルの演舞を行うというルールのもと、1992年に10チーム・1千人の参加により北海道札幌市で第1回が開催。その後徐々に全国に波が広がり、2007年観客動員数は216万人を突破し過去最高を記録しました。

バンダイナムコグループでは「夢・遊び・感動」を世界中の人々に提供することを企業理念としており、『YOSAKOI ソーラン祭り』で夢を持ってエンターテインメント創造に挑戦する参加者達を応援することを目的に2007年に引続き協賛を行うものです。

バンダイナムコグループは、『第17回札幌YOSAKOIソーラン祭り』で、7月開催の「洞爺湖サミット」のカウントダウンイベントの1つとして世界平和と環境をテーマに開催されるオープニング企画に協賛。世界各国の踊り手が参加するステージにオリジナルデザインのハッピーを提供するなど「EARTH DAY in ワールドソーラン Presented by バンダイナムコ」として応援します。また「EARTH DAY in ワールドソーラン Presented by バンダイナムコ」でお披露目される『YOSAKOIソーラン祭り』の新イメージキャラクター「ヨサコイ チャピ」の企画にはバンダイナムコグループでオリジナルキャラクターの企画・開発・育成などを行う㈱キャラ研が協力しています。このほか会場でのオリジナルグッズの配布、今後全国11都市で開催される祭りに参加者への応援も行う予定です。

バンダイナムコグループは、「夢・遊び・感動」を世界中の人々に提供し続けることを企業理念とし、「夢・遊び・感動」を提供し続けるためのCSR基本方針を定めています。今後もこの方針にのっとり、バンダイナムコグループらしい様々な活動に取り組んでいく予定です。

イメージキャラクター「ヨサコイ チャピ」について

赤ちゃんペンギンをモチーフに生まれた新イメージキャラクター。祭り期間中や特別番組などに「ヨサコイ チャピ」の着ぐるみが様々な形で登場します。企画デザインにあたっては、バンダイナムコグループでオリジナルキャラクターの企画・開発・育成や絵本の企画などを行う㈱キャラ研（本社：東京都渋谷区 社長：相原博之）が参加しています。



(C) Yosanet / CHARAKEN・ROBOT

南極。

温暖化で氷が次々と溶け出し、ペンギンたちも追いつめられ始めている。

このままでは生きていけない・・・

あるとき、1つのペンギンの家族が流れ出した流氷に乗って南極を離れた。

しかし、すぐに荒波が彼らを襲い、1匹の赤ちゃんペンギンが海に投げ出される。

溺れかけた赤ちゃんペンギンはなんとか流木につかまり、難を逃れ、あてのない旅へ。

そして・・・

2007年12月25日、赤ちゃんペンギンは奇跡的に北海道の小さな港に流れ着く。

町の人たちが懸命に介抱し、赤ちゃんペンギンはなんとか一命を取りとめた。

やがて元気を回復した赤ちゃんペンギンは「チャピ」と名付けられた。

「チャピ」はペンギンの言葉で「家族」を意味するのだという。

「家族」を失ったチャピの悲しみをなんとか癒そうと、町の人たちはチャピに「ヨサコイソーラン」を教える。

町の人たちが踊る「ヨサコイソーラン」を見て、チャピの目は輝きを取り戻す。

そして、「チャピ!チャピ!」と叫びながら、いつのまにか町の人たちと一緒に踊りだした。

チャピと町の人たちは「ヨサコイソーラン」を通じて、本当の「家族」になったのだ。